



### 登録される文化財の概要

#### 篠山小学校6棟(1号棟～5号棟、講堂)

**所在地** 丹波篠山市北新町5

**特徴等** 篠山城跡三の丸に位置する小学校の現役校舎。昭和27年から30年に建築した1号から5号の木造二階建切妻造桝瓦葺東西棟の木造校舎と、昭和10年建築の鉄骨造平屋建人工スレート葺南北棟の講堂。いずれも創意が現れた戦後復興期の学校建築。講堂の外壁はモルタルリシン仕上げで腰はスクラッチタイル貼、妻壁に起工年である昭和9年の皇紀を示しています。

※「切妻造」・・・切妻屋根(棟を頂点としてふたつの傾斜面が合わさって三角形をつくる屋根)をもった建物の形式。

※「桝瓦葺」・・・本瓦葺の丸瓦と平瓦を一つにした桝瓦を使った葺き方。葺上げたとき、勾配の下方になる一隅(重ね部)に切込みがある。

※「スクラッチ・タイル」成形後、表面をくし引きして浅い平行の溝を作り、焼成した粘土タイル。

土交通省の強度基準を下回ることを判明。そこで、専門家や地域の方、保護者の方の参加を得て、篠山小学校校舎検討委員会を立ち上げ、検討を重ねられてきました。また、地域では城跡内での小学校存続を望む声が大変強く、委員会では委員全員の一致で耐震の方向性が決定。2013～2015(平成25～27)年に耐震補強改修工事が行われ、保存が実現しました。最盛期の1956年には1230人の児童が在籍。現在は132人となり、空き室を活用して、篠山幼稚園が併設されています。

# 未来へつなぐ地域の宝

## 篠山小学校の木造校舎が 国の登録有形文化財に



11月24日に開催された国の文化審議会文化財分科会で、全国の建造物を国の登録有形文化財に登録するよう文部科学大臣へ答申された建物の中に、篠山小学校(1号棟～5号棟・講堂)が含まれました。今回の特集では、篠山小学校がもつ歴史と特徴を紹介します。問い合わせ 文化財課☎552-5792

### 国の登録有形文化財とは…

観光資源などに活用しながら文化財の保護を図ることを目的に平成8年に始まった制度。建築後50年を経過した建造物が登録対象となり、次の3つの基準のいずれかに当てはまるもののうち、一定の評価を得たものを文化財として登録

- 1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
  - 2 造形の規範となっているもの
  - 3 再現することが容易でないもの
- 篠山小学校では、1号棟から5号棟が①に、講堂が②に該当しています。

篠山城跡(国史跡)三の丸にある篠山小学校の木造2階建ての校舎5棟と、鉄骨造平屋建ての講堂1棟の計6棟が、国の登録有形文化財に登録されます。市内では7カ所目の登録となりました。篠山小学校は、1873(明治6)年に開校。1910(明治43)年には、現在の地に校舎が完成しました。現在の篠山小は、竣工以来、増改築を繰り返してきたそれまでの校舎を戦後の1952～1955(昭和27～30)年の間に総改築をしました。講堂は、1935(昭和10)年に建てられました。校舎は、切妻造りの瓦葺き屋根で、北側に廊下、南側に教室が配置され、戦後復興期の学校建築の特徴をとどめていると評価されました。一方、講堂は、外壁の腰部分に、くし引きで浅い溝をつくり焼成した「スクラッチタイル」が使用されるなど、戦前期の希少な建物となっています。篠山小は国史跡の篠山城跡内にある全国でもめずらしい学校です。しかし、1956(昭和31)年に篠山城跡が国史跡指定を受けて以降、文化庁から史跡外への移転を求められるようになり、2011(平成23)年には、耐震診断で国

### ひょうごSDGsスクールアワード 2023 小学校部門

## 篠山小学校が「お城ガイド」 で最優秀賞を受賞



子どもたちが主体となって取り組んでいるSDGsの目標達成につながる活動に対して、特に先進的な取り組みを行っている学校園をたたえる「ひょうごSDGsスクールアワード2023」。篠山小学校が取り組んでいる「お城ガイド」の活動が高く評価され、小学生部門で最優秀賞を受賞しました。

お城ガイドとは、篠山小6年の児童たちが、篠山城に來られた観光客の皆さんに篠山城の魅力を案内する取り組みとして行っており、今年で13年目を迎えます。児童たちは、地元のボランティアガイド「ディスカバーささやまグループ」の皆さんから、原稿の内容や説明の仕方などについて、手ほどきを受けながら練習に励んでいます。また、ガイドには3択クイズが取り入れられ、観光客の皆さんに楽しんでもらおうと、クイズ用のボードなども児童たちが手づくりで準備しています。

6年生の佐藤穂香さん、西村花さんは、「お城ガイドを通じて、篠山城の魅力をあらためて知ることができ、とてもうれしいです。今回の受賞は、これまでの活動が認められ、とても誇りに思います」と笑顔で話してくれました。



### 篠山小これまでのあゆみ

- 1873 (明治6)年4月20日**  
知新館の名称で魚屋町誓願寺内に開校
- 1875 (明治8)年1月19日**  
東西幹校を合併し、篠山小学校と改称(篠山城跡二の丸へ)
- 1910 (明治43)年5月1日**  
現在の地に新築校舎完成
- 1919 (大正8)年4月1日**  
全国的にもめずらしい漢字による学級名が生まれる
- 1935 (昭和10)年5月6日**  
講堂落成式典挙行
- 1955 (昭和30)年9月11日**  
全校舎完成祝賀大会
- 1998 (平成10)年  
～ 2001年(平成13)年**  
年次計画により校舎・講堂等の改修
- 2013 (平成25)年12月**  
校舎耐震補強改修工事着工
- 2015 (平成27)年2月**  
校舎耐震補強改修工事完成
- 2023 (令和5)年2月17日**  
創立150周年記念式典

### 雪の朝に現れるミステリーサークル

篠山小学校のグラウンドには、雪が降ってもいち早く溶け、円形が浮かび上がるというスポットがあります。

もともと篠山小学校は、江戸時代に家老屋敷があった場所。屋敷内の井戸がグラウンドに眠っており、ふたがされてはいるものの、地下が空洞のため、周囲の土ほど冷えることがなく、雪が早く溶けるのだと伝えられています。

### 国登録有形文化財の登録を祝って

耐震工事のときにはいろいろと議論がありました。それでも、地域の皆さんの篠山小学校はお城の中になんかという強い思いがあって、この場所で耐震改修できたことは非常にうれしいです。今後も末長く、この校舎が使われることを願っています。



藤本善一さん  
校舎検討委員会委員

城跡が見える伝統ある木造校舎の篠山小学校は自慢であり誇りです。城跡地内に小学校が残る難しさを乗り越え、耐震補強工事を果たした時から、念願でありました国登録有形文化財の登録がなかったことはこの上ない喜びとともに、なお一層素晴らしい小学校になることを願っています。



小山辰彦さん  
学校運営協議会副会長  
(元市教育委員会部長)



波多野さおりさん  
校舎検討委員会委員

校舎検討委員会で建物、立地について子どもたち、保護者にアンケートを行ったところ「歴史ある木造校舎を城跡地内に残したい」が多数でした。地域や卒業生の方々の思いも同じでした。これらの思いがあり保存され、今回の登録につながりましたこと、とても感慨深いです。



中野丈一郎さん(篠山小6年児童会会長)【左】  
黒瀬 凜さん(篠山小6年児童会副会長)

篠山小は、木の温かみがある自慢の校舎です。篠山小の魅力を全国に知ってもらえてうれしいです(中野)。  
普段生活している学校が、国の登録有形文化財に指定されてうれしいです。将来誇りに思える学校です(黒瀬)。



篠山小学校 押部匡子校長

### 各学年に応じて、その価値を学びたい

子どもたちが普段いる日常の中に、歴史と伝統が入り込んでいるのが、篠山小学校のすてきなところ。歴史と伝統の下支えの中で、保護者や地域と一緒に子どもたちの教育を進めている学校が、国の登録有形文化財に指定されたことはとてもうれしいです。

文化財としての建物の価値を知ること、は、わくわくする発見になります。校舎や学校の伝統・文化を未来につないでいくために、各学年に応じて、学びに取り入れたいと思っています。

子どもたちも自分たちの学校は、自分たちで楽しい学校にしていこうと、元気に頑張っています。未来を創る子どもたちが育っています。



### 全国でもめずらしい学級名

篠山小学校のクラス名は漢字一文字。

1919 (大正8)年、当時の校長が、校風にふさわしい学級名として、漢文の中から親しみやすく意義のある漢字を選びました。以降、全国でもめずらしい漢字一字の学級名となっています。



### 講堂の壁に謎のナンバー

講堂の壁に掲げられている「2594」という数字は、講堂の起工年を皇紀で示したものです。

皇紀とは、「日本書紀」に記された初代天皇の神武天皇が即位したとされる年を元年(紀元前660年)とする紀年法で、戦後、廃止され、現在はほとんど使われなくなっています。

篠山小こぼればなし

# 農都丹波篠山の多様な農家それぞれの良さを知る



か が の あん な  
**加賀野安那さん**  
[SOL FARM]



た に が き けん し  
**谷垣健司さん**  
[富貴宮農(株)]



き り り ゅ う こ  
**木村葉子さん**  
[(有)古家後農場]



ほ そ や ま あ き ら  
**細山明さん**  
[山田宮農組合]



な か す え と も き  
**中末智己さん**  
[中末農園]



み な と ゆ か  
**湊友加さん**  
[農事組合法人なちゆるはーもにー]



い し だ こう い ち  
**石田浩一さん**  
[(有)みたけの里舎]



お お さ か う つ み  
**大坂宇津実さん**  
[(株) AGRI STREET]

## 新春座談会2024

新年あけましておめでとうございます。市では令和5年4月に、有機農業を地域ぐるみで推進する「オーガニックビレッジ宣言」を行い、持続可能な農村をめざした取り組みを進めています。

今回の座談会では、農業者の皆さんをお迎えし、「農都丹波篠山の多様な農家、それぞれの良さを知る」をテーマに、農業への取り組みや、農業の未来について、酒井市長、小島議長と語っていただきました。

【司会＝森本秀樹 農都創造政策官、清水夏樹 農都環境政策官】

清水 まず最初に、酒井市長、小島市議会議長にごあいさつをいただきます。

市長 市はこれまでから、特産振興をはじめ、多様な農家に集落の農業を支えていただくような取り組みを進めています。最近では、農都のめぐみ米の普及や、昨年4月にはオーガニックビレッジ宣言を行い、新しい農業の取り組みの方向も示してきています。しかし一方で、約230ある農村集落では、集落の農業や農地をどのよう

に守り、つないでいくのかといった課題もあります。そういった中でも、丹波篠山は全国の農村のまのリーダーとして、これからもやっていきたいと思いますので、皆さんの取り組みやこれからの方向性を語っていただければと思います。

議長 今後、市内では5年・10年の間に、高齢化などでリタイアされる農業者が増加します。また、担い手不足に併せて、国際情勢などから、食料や飼料、肥料の自給自足についての施策も必要と考えています。皆さまからのご意見を議会でも参考にさせていただければと思っております。

清水 続いて、農業者の皆さんの取り組みについて、簡単にご紹介いただきたいと思っています。

中末 私はオーガニックグループ「丹波篠山自然派」に属し、学校給食に野菜を出荷しています。今後

細山です。組合では田んぼを3.5畝預かって、農都のめぐみ米を栽培しています。環境や生き物に配慮した農法なので、栽培を増やしていけるように努力していきたいと思っています。

湊 農事組合法人なちゆるはーもにーの代表をしています。結婚を機に両親と法人を立ち上げ、農業を始めました。現在、市の農村女性組織連絡会の会長を務め、市内で農業に取り組む女性の方を発掘し、つなげていく、そんな活動を続けています。

大坂 (株)AGRI STREETの代表を務めています。生まれも育ちも大阪で、大学生のときに丹波篠山で農業ボランティアサークルをつくり活動したことがきっかけで、移住してきました。新規就農して7年目になりますが、西紀南地区で黒枝豆とサツマイモを栽培しています。

清水 ありがとうございます。今度は農業での苦労話やこれは楽しいといった話をお聞きたいと思っています。

大坂 アーチパイプでトマト栽培をしていたとき、台風でめちゃくちゃになったことが衝撃的でした。その後、対処方法を地域の方々から教えていただいたり、先輩方から助けていただいたりしました。起業してよかったのは、良いことや悪いことがあっても、何かしら

も広げていきたいと思っています。丹波篠山では、有機農業者も有機農業をやらない方も、お互い仲よくできるところがすごくよいところだなと思っています。

木村 古家後農場で働いています。私は、親から農場を引き継ぎ、和牛の繁殖やブドウの栽培をしています。和牛の繁殖では、子牛を9カ月ぐらいいまで育てて出荷しています。

石田 (有)みたけの里舎の石田といます。米や黒大豆などの生産を中心に、田植えや稲刈りなどの作業の受託なども行っています。現在、スマート農業を導入し、ドローン播種で田植えもなるべく田んぼに入らず済むようにできないか、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。

谷垣 東吹で富貴宮農(株)の代表をしています。平成19年に農地を維持しようと8人で出発しました。その8人のうち、4人が入れ替わり同じ8人のうち7人は70歳前後で、高齢化の中で取り組んでいます。

加賀野 代々兼業農家の家に生まれ、実家の圃場を少しずつ農業・化学肥料を使わないやり方で作物を育てています。丹波篠山自然派に所属し、先輩方から栽培方法など、たくさんの方を教えていただいています。

細山 村雲地区・山田宮農組合のご縁があり、それがいちばんうれしくてありがたいところだと思います。

石田 ゴルゴ松本さんのことばに『難が無いのが『無難』な人生。だけど『難』が有るのは『有難し』。』ということばがありますが、私も難に向かっていけるようにがんばっているところです。また、みたけの里舎で農業ができ、とてもよかったです。地域の方々には温かく見守ってもらっており、とても感謝しています。

谷垣 会社はなかよし会で、田植えにしても稲刈りしても、常に8人で動いています。とにかく8人でできることがとてもよいことだなあと思っています。

細山 私は宮農組合の中で1番の年長で、他のみんなが勤めに出るので、私が水管理をしています。田んぼを見回ると、キジが卵を産んでいたり、ゲンゴロウがいたり、モリアオガエルも出てきたりと、こういうのを見ると楽しくて、疲れもとれ、とてもやりがいがあります。

木村 生き物の命を預かっており、病気など、何があるのか分からないのでとにかく大変です。ブドウにしても、牛にしても、いろいろな工夫しながら理想のものを育てていくというのは、大変ですがとても楽しいです。育てることを楽しんでいきます。

石田 ゴルゴ松本さんのことばに『難が無いのが『無難』な人生。だけど『難』が有るのは『有難し』。』ということばがありますが、私も難に向かっていけるようにがんばっているところです。また、みたけの里舎で農業ができ、とてもよかったです。地域の方々には温かく見守ってもらっており、とても感謝しています。

谷垣 会社はなかよし会で、田植えにしても稲刈りしても、常に8人で動いています。とにかく8人でできることがとてもよいことだなあと思っています。

細山 村雲地区・山田宮農組合のご縁があり、それがいちばんうれしくてありがたいところだと思います。

加賀野 代々兼業農家の家に生まれ、実家の圃場を少しずつ農業・化学肥料を使わないやり方で作物を育てています。丹波篠山自然派に所属し、先輩方から栽培方法など、たくさんの方を教えていただいています。

石田 (有)みたけの里舎の石田といます。米や黒大豆などの生産を中心に、田植えや稲刈りなどの作業の受託なども行っています。現在、スマート農業を導入し、ドローン播種で田植えもなるべく田んぼに入らず済むようにできないか、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。

谷垣 東吹で富貴宮農(株)の代表をしています。平成19年に農地を維持しようと8人で出発しました。その8人のうち、4人が入れ替わり同じ8人のうち7人は70歳前後で、高齢化の中で取り組んでいます。

加賀野 代々兼業農家の家に生まれ、実家の圃場を少しずつ農業・化学肥料を使わないやり方で作物を育てています。丹波篠山自然派に所属し、先輩方から栽培方法など、たくさんの方を教えていただいています。

細山 村雲地区・山田宮農組合のご縁があり、それがいちばんうれしくてありがたいところだと思います。



**湊** 農業を始めたときに、最初にブドウを植えました。それが大雪で約20坪のハウストともに、ぶどうの木が全部折れてしまったときは、とてもつらかったです。でも、ぶどうをつくって初めて出荷したときは、一生懸命思いを込めて作ったものが、お客さんのもとに届けられるという、うれしさは今でも忘れられません。

**加賀野** 自分がおいしい野菜をつくるためには、どういう野菜がおいしいのか、どういう野菜が旬なのか、というのを頭の中で理解し、舌で覚えることが大切だと思っています。実際、自分の野菜を買って食べてもらったら、太陽の味がするとか、ハーブみたいな感じがするとかいってらって、本当にうれしかったです。

**中末** 有機農業を始めて23年にな



りますが、何も分からないところからスタートして、本当につらい状況の中でやってきました。今思うと、あの経験がよかったと思います。「いきなり有機農業をやってもうまくできない」と皆さんおっしゃるんですけど、その気持ちを理解するための経験だったと思います。また、高齢化で農家が減っていくといわれていますが、それはチャンスだと思っています。若い方が丹波篠山にすごく魅力を感じているからこそ、うまくマッチングさせて逆にいるいろいろな課題を、農業を通じて解決していくことにならるのではないかと思います。

**清水** ありがとうございます。それはここで司会を交代いたします。森本政策官よろしくお願います。

**森本** ありがとうございます。最

後に、今年の新しい年を迎えられた皆さんの抱負を語っていただきたいと思います。

**加賀野** 私が農業に関わっているのは先人たちが道を作ってくれたからです。いつも私は次世代に何が残せるだろうと思いつづくりをしています。今年は、オーガニックの認知度がまだまだ低いと感じるのでそれを上げるような活動を市内でやりたいと思っています。

**谷垣** メンバー8人の年齢は毎年1歳ずつ上がり、高齢化が進んでいます。近隣の自治会に声をかけながら、人を増やし、地域の農地を守っていききたいと思っています。

**細山** 今年は、勤めで家の百姓をあまり手伝える機会がない方に、田植えのときに出てもらって、一緒に作業ができる機会をつくりたいなと思っています。後継ぎがで

るように頑張っていきたいと思っています。

**石田** 輸入の稲わらの価格が高騰し、国産稲わらの飼料ニーズが高まっています。また、山間部では水稻の採算が合わなくなってきたので、集まってくる農地を牧草に有効活用できないか考えています。なかなか大きな話なので、地域の理解も必要ですが、市内には丹波篠山牛というブランドがあり、付加価値をつけられるかもしれません。何とかチャレンジしていきたいです。また、将来的には乾燥施設、大型機械も持たない、大型農家をめざしていきたいと思っています。そうすることで、新規就農者も入りやすくなると思います。

**湊** 昨年と一昨年は高温や水不足で、黒大豆が思うように作れませ

んでした。多くのお客さんが枝豆や黒大豆、山の芋などの特産品をすごく楽しみに待っていたのに、それにこたえられないのは、悔しい思いがありました。今年は基本に戻って、土づくりから見直し、お客さんに喜んでもらえるような農産物づくりに取り組みたいと思います。

**木村** 円安で輸入の牧草の価格が高いので、極力影響を受けないように、自分のところで稲わらを集める、作ることを増やしていきたいと考えています。先程、石田さんが牧草を栽培する循環農業の話がされましたが、私たち畜産農家もぜひ、協力していきたいと思っています。

**大坂** 私は、農家に足りないものは売る力だと思っています。今まで200円で売っていた野菜をどうやって500円にして売るかみたいなことを考えるべきだと思っています。また、農家をリタイアされる方が増え、農地が空くのをみると、なんとかしたいという思いもあり、栽培面を強くしていければと思っています。その仕組みとノウハウをもって、次に続く新規就農者に伝えていきたいと考えています。

**中末** 有機農業をして思うのは、時代が変わってきているということ。農業についても、耕作放棄地の増加をはじめ、肥料や飼料の値

上がりなど、いろいろな問題があります。例えば、石田さんがおっしゃったように、新規就農でいきなり施設整備するのは無理ですが、みんなでシェアするという考え方を導入すれば、新規就農が入りやすくなります。多分、これからは考え方を切り替えないといけない時代にきているのかなと思います。私は、有機農業者として、つながりとか助け合いとか、そういうようなことを実践していければと思っています。

**森本** ありがとうございます。以上で8人の方にお話をうかがいました。

**市長** 森本政策官、清水政策官、お話を聞いた中で大きなヒントがあったように思いますが、いかがですか。

**清水** 私はもともと研究者で、農業はどうあるべきかについて論じてきました。今は皆さんと直接お話ししたり、時には畑や田んぼにうかがったりという体験を通して、丹波篠山に私がいることの意味がすごくよく分かりました。今、やりたいことはいっぱいありますので、それを一つ一つ皆さんと話しながらやっていくことがおもしろくて、わくわくしています。

**森本** 農家の皆さんが本当に工夫しながら、いろいろな形の農業をされているのが、本当によく分かりました。今日言われた言葉で共

通しているのは、「育てる楽しみとつながる楽しみ」。そして、「丹波篠山には本当にいろいろな方が見られて、さらにわくわくする農業というものが芽生えてきています」という言葉が、とても印象に残りました。これは、よその市町ではできないことだと思っています。今日のお話を聞いて、本当にすばらしいところだなと思いました。

**森本** 最後に、酒井市長と小島市議会議長から本日の座談会の感想をお願いします。

**議長** 多様な立場からのお話は大変参考になりました。議会としても市民の皆さまとともに、地域の良さを、これからの時代に対応できるような支援をさせていただきたいと思っています。皆さまのご活躍をご祈念申し上げます。

**市長** ありがとうございます。これだけの農業者が集まり、地域を盛り上げられるところはほかにないと思います。課題はあっても、皆さんがさらにその特色を伸ばして頑張っていたら、ことごとく、まちは確実によくなると思います。今年も活躍をよろしくお願いました。ありがとうございます。

今回の座談会は2時間にわたるものでした。紙面の関係で内容を縮小して掲載しています。



### 丹波篠山市は、大きく3つの会計に分けて経理をしています

- ① 一般会計(福祉や教育、道路の整備など、市政運営の基本となる会計)
- ② 特別会計(特定の収入で特定の事業を行う会計)
- ③ 公営企業会計(事業の収入で、その事業の経費をまかなう独立採算制の会計)

## 令和4年度

# 決算状況をお知らせします

令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の市の各会計決算や財政状況を取りまとめました。皆さんに納めていただいた税金などが、この1年間でどのように使われたのか、また、財政はどのような状況にあるのかをお知らせします。  
問い合わせ 財政課 ☎552-5114

### 歳出

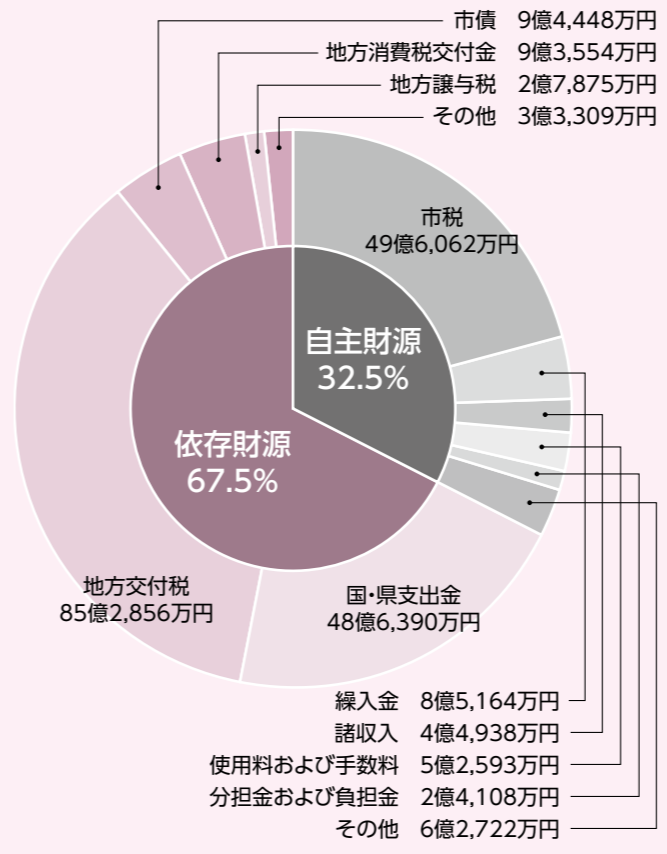
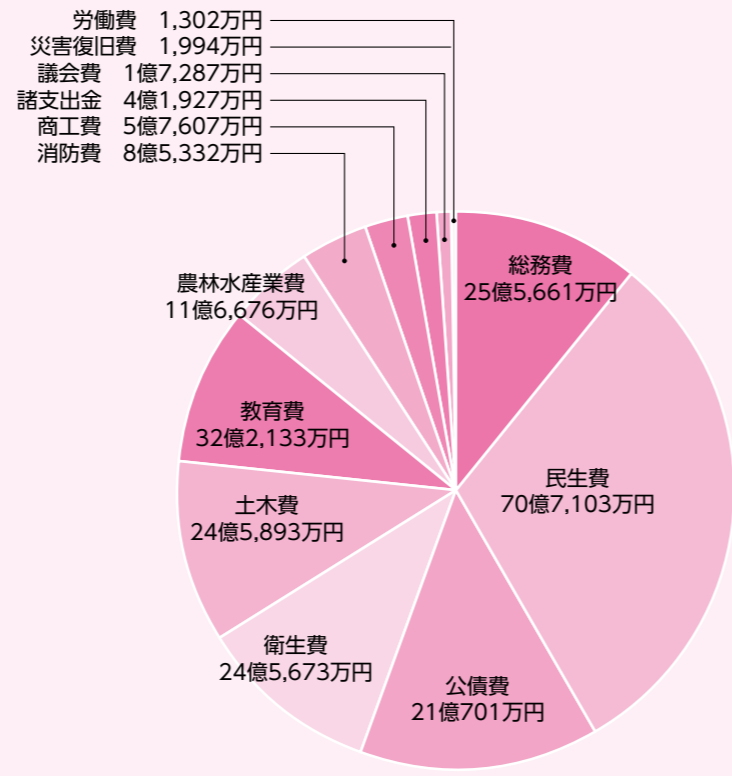
総額 230億9,289万円

### 歳入

総額 235億4,019万円

#### お金の用途

総務費	市政全般の業務
民生費	福祉の推進
公債費	市の借金の返済
衛生費	市民の皆さんの健康づくりやごみ処理など
土木費	道路や河川、市営住宅の整備など
教育費	公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進など
農林水産業費	農業や林業の振興
消防費	消防活動や救急活動
商工費	商業や観光の振興、企業誘致など
諸支出金	基金の積み立て
議会費	議会の運営
災害復旧費	災害復旧
労働費	職業訓練の支援など



#### 自主財源

(地方自治体が自ら調達できる収入)

#### 市税

市民の皆さんから納められたお金

#### 繰入金

基金(貯金)から繰り入れたお金

#### 諸収入

市税の延滞金、預金利子、雑入などのお金

#### 使用料および手数料

市営住宅の家賃や住民票などの証明書の発行で納められたお金

#### 分担金および負担金

保育料や公共事業の受益者分担金などとして納められたお金

#### その他

繰越金、財産収入、寄附金

#### 依存財源

(国や県の基準に基づいて、割り当てられる収入)

#### 国・県支出金

市が行う仕事に対し、国や県から支給されたお金

#### 地方交付税

地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付されたお金

#### 市債

必要な事業を行うために、国や金融機関から借り入れたお金

#### 地方消費税交付金

地方消費税などの一部を人口により案分されて、県から交付されたお金

#### 地方譲与税

国の税金から一定の水準で配分されたお金

#### その他

ゴルフ場利用税交付金/地方特例交付金/利子割交付金/配当割交付金/株式等譲渡所得割交付金/交通安全対策特別交付金/環境性能割交付金/法人事業税交付金/自動車取得税交付金

## 3 企業会計決算額



会計名	歳入	歳出	
水道事業	収益的収支	22億4,784万円	19億9,136万円
	資本的収支	1,920万円	9億7,834万円
計	22億6,704万円	29億6,970万円	
下水道事業	収益的収支	30億1,084万円	27億2,382万円
	資本的収支	11億5,681万円	24億2,446万円
計	41億6,765万円	51億4,828万円	

※全て税込み。

## 2 特別会計決算額



会計名	歳入	歳出
国民健康保険(事業勘定)	50億2,902万円	49億9,234万円
国民健康保険(直営診療所勘定)	1億8,874万円	1億8,830万円
後期高齢者医療	6億9,432万円	6億8,131万円
介護保険(介護保険事業勘定)	49億3,420万円	48億684万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,288万円	1,288万円
計	108億5,916万円	106億8,167万円

## 1 一般会計決算額



一般会計の決算額は歳入と歳出の差し引きが4億4730万円(黒字)となり、歳入総額は235億4019万円(前年度対比2.8パーセント増)で、繰入金が増額となりましたが、地方交付税などが減額となったことで、前年度に比べて6億6962万円の減額となりました。歳出総額は230億9289万円(同2.3パーセント減)で、総務費などが増額となりましたが、民生費などが減額となったことで、前年度に比べて5億4955万円の減額となりました。

# 第19回 丹波篠山市展

河合賞(最優秀賞)・市展賞受賞作品を紹介し(敬称略)。今年は全部門合わせて172点の出品があり、そのうち157点が入選。

11月18日から25日まで、丹波篠山市民センターに展示しました。

問い合わせ 社会教育課 ☎552-5769

カラーで見ると



**河合賞(最優秀賞)**  
 絵画部門『「伝えること」と「伝わること」』  
 林 瑠美(今田町今田)



**市展賞**  
 彫刻・工芸部門「初期衝動」  
 林 健二(今田町今田)



**市展賞**  
 書部門「萩原朔太郎の詩」  
 村上 蒼風(三田市)



**市展賞**  
 盆栽部門「黒松」  
 廣瀬 昌之(丹波市)



**市展賞**  
 写真部門「稚内へ正月を届ける」  
 前川 新三郎(大沢)



**受賞者の皆さん**  
 前列左から 林健二さん、前川さん、河合良子さん(故河合雅雄先生の奥さま)、廣瀬さん、林瑠美さん

## 兵庫県内で比較すると、丹波篠山市の財政状況はどうか？

下グラフは、市の財政状況が県内市町の中でのどのような位置にあるかを見るものです。財政の健全度合いを判断する実質公債費比率と将来負担比率を軸に、各市町の財政状況を表しています。右上に行くほど財政状況が悪く、左下に行くほど財政状況はよくなります。

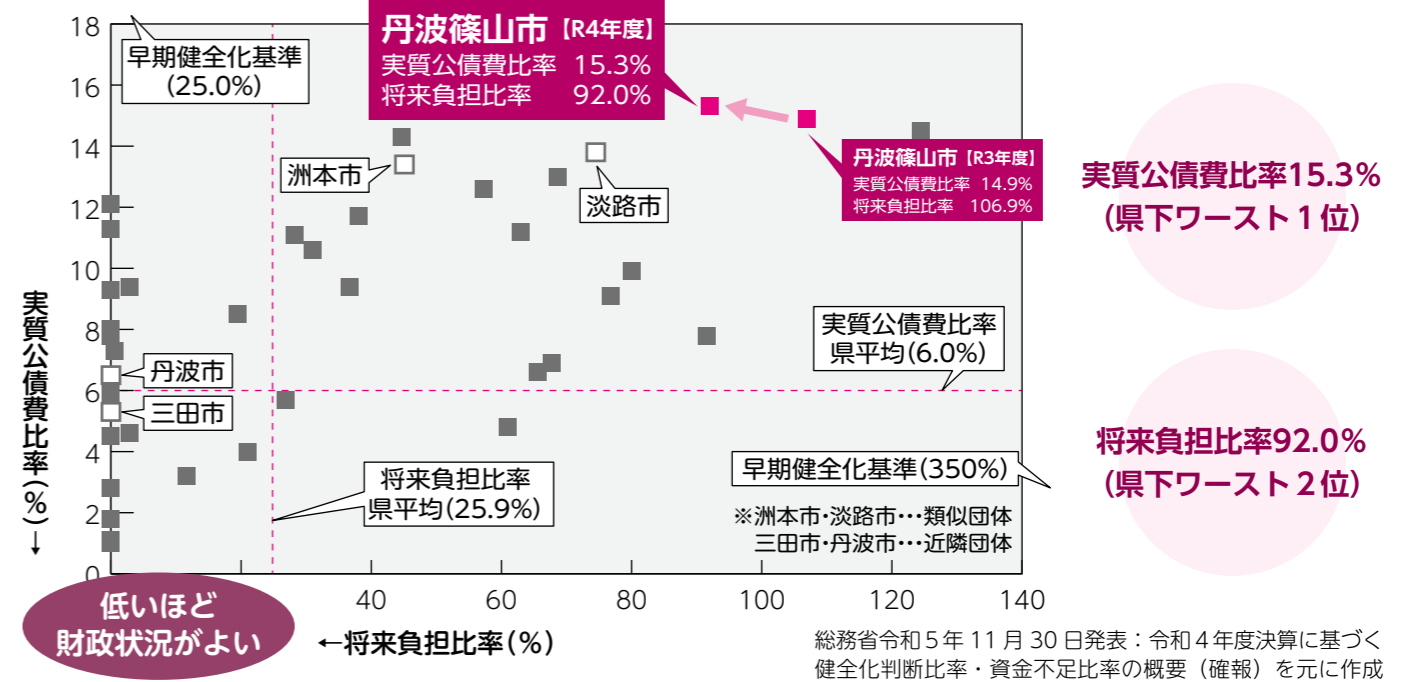
### 実質公債費比率とは

自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。25%以上になると早期の財政健全化を求められる。

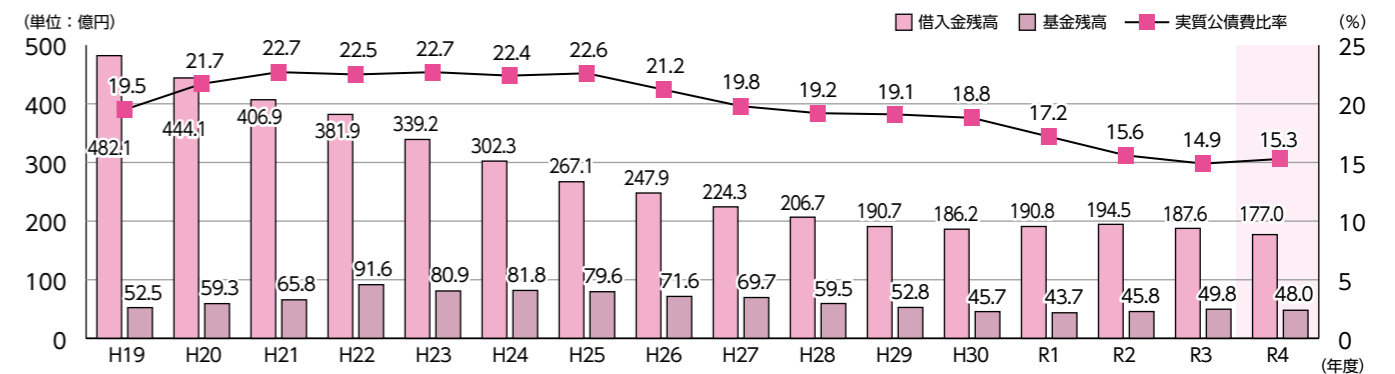
### 将来負担比率とは

自治体の財政規模に対する、将来支払う可能性のある負債の比率。350%以上になると早期の財政健全化を求められる。

## 兵庫県内市町の実質公債費比率と将来負担比率の状況(令和4年度)



## 市の貯金や借金は？ 借入残高・基金残高と実質公債費比率の動き(一般会計のみ)



市の貯金にあたる基金の残高は、48億円となりました。



将来負担比率は、92.0%に改善しています。

市の一般会計の借金に当たる借入金の残高は、177億円となりました。